

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ビタミン			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年9月20日		～	令和7年9月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の構造化を行っています。 視覚支援を沢山、取り入れています。	スケジュールの活用（将来、働く為に仕事の段取り、休みの過ごし方を自分で考える事が出来る為）を行っています。 口頭指示ではなく、トラジッションカードやリマインダーを使用し、見て自分で動ける・SOSを自分から出せるようになる為の練習を行っています。気持ちを聞きだす際には、コミック会話も活用しています。	視覚支援の活用法についてレベルアップできるよう、引き続き研修などを行っています。
2	移行支援に力を入れています。	小学校に入学した時に、幼稚園や保育園とは違う事が沢山あります。その時に、事前にイラストや写真を用いてイメージすることができると、実際の場面の時に思い出し、安心して学んでいくことが出来ます。安心して小学校入学を迎える事ができるように、年長さんにはご家庭や通う予定の学校に関する情報を収集し、移行支援を行っています。	
3	保育所等訪問支援との連携が図れます。	お子さんの通園・通学先にて困りごとが生じた際に、保育所等訪問支援が事業所内にある事で、いつも関わっているスタッフが、通園・通学先に行きサポートを行ったり、困りごとを把握して療育に活かす事も出来ます。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーではなく、車椅子や歩行補助具等使用（段差昇降が難しい）のお子さんの利用が難しいです。	事業所がエレベーターなしのビルの2階にある為、バリアフリーではありません。	条件の良い家屋があれば、引っ越しも視野に入れています。
2	送迎サービスがあまりない（児発は若干あり）ので、親御さんの送迎の負担が大きいです。	毎日、学校も療育も頑張っているお子さんを親御さんに送迎して励まして欲しいという思いと、車でのルールを親御さんと一緒に決めて乗ってきて欲しいという思いがあります。とはいえ、毎週送迎となると、親御さんの負担は大きくなると思っています。	働いている親御さんも増えてきているので、曜日によって片道のみ送迎の支援を行っています。
3			